

# 古河駐屯地 納涼大会



古河の夜空を彩った花火



セレモニー



隊員とともに盆踊りを楽しむ地域住民



ちびっこ広場



和太鼓演奏

古河駐屯地は、夏真っ盛りの令和元年七月十七日、地域住民との親睦を深め、駐屯地に対する理解と信頼関係の醸成及び隊員・家族との融和・団結の促進を図る目的で「古河駐屯地納涼大会」を開催した。

当日は、部内外から多数のご来賓及び隊員家族や地域の方々等、約九千人の来場者で賑わった。

本納涼大会は四十年以上の歴史があり、地域住民に親しまれている駐屯地行事であるが、昨年は平成三十年七月豪雨に伴う災害派遣のため中止となり、二年ぶりの開催となった。

イベントでは、古河を中心に活動するバンド「セシル」による歌と音楽を皮切りに、子供たちを対象としたジャンケン大会、タヒチアンダンス、和太鼓演奏により会場を盛り上げた。

セレモニー後に行われた盆踊りでは、お囃子に合わせて隊員や来場者が輪になって踊り、会場がひとつになった。

また、ちびっこ広場の射的や輪投げ、公募による売店等は絶えず来場者で賑わい、長い行列ができるほど大盛況であった。

夜も更け、盛り上がりも最高潮になり、大会の締めくくりには、バックミュージックとともに打ち上げ花火約百五十発と仕掛け花火のナイアガラが駐屯地の夜空を彩ると、来場者から大きな拍手と歓声があがり、今大会も盛会のうちに終了した。



作戦会議



災害派遣に出発する部隊



東京電力との現地調整



高所作業車を利用した倒木の除去



施設器材と人力による倒木の除去

古河駐屯地各部隊は、九月十六日から二十七日までの間、令和元年台風十五号に伴う千葉県での災害派遣活動を実施した。

派遣に際し、各部隊は補給品や器材の積載、移動に備えての車両点検を整齐と実施し、第一施設団本部及び付隊は千葉県庁等に連絡要員を派遣するとともに、第一師団を支援する施設調整所を練馬駐屯地に編成した。

また、第一〇一施設器材隊、第三〇一ダンプ車両中隊、第一〇二施設直接支援大隊は、油圧ショベル、特大型ダンプ等の装備品とともに木更津駐屯地へ前進し、第四施設群長が指揮する「東方施設支援群」の主力となって派遣活動を開始した。

現地では、情報収集、特に東京電力との調整及び道路偵察等を行ったのち、東京電力の作業車が停電原因箇所まで進入し復旧できるように人力・機械力を駆使し、倒木や土砂等を除去する道路啓開作業を実施した。

二十七日、派遣部隊は任務を完遂し、無事帰隊した。

令和元年台風十五号に伴う災害派遣



# 転入部隊長等の紹介



第320基地通信中隊古河派遣隊長  
中村3尉

八月一日付で第三二〇基地通信中隊古河派遣隊長中村三尉以下二十八名の隊員が新戦力として、古河駐屯地に転入した。



# 国際貢献活動



ジブチ災害対処能力強化支援に参加する松村2曹



東ティモール能力構築支援に参加した服本2曹

八月十六日から九月二十三日までの間、第三〇一ダンプ車両中隊 服本二曹は通訳要員として、一日米豪共同東ティモール民主共和国能力構築支援「へ、十二月三日から十二月十五日までの間、第一〇一施設器材隊 本森一尉は教務幹部として、また松村二曹が施設機械操作の助教と「ジブチ災害対処能力強化支援」にそれぞれ参加し、設置機械操作に関する教育の他、車両整備、測量等の教育を実施している。

# 新配置隊員の紹介



第101施設器材隊  
梅田2士



第101施設器材隊  
平1士



第101施設器材隊  
菊地2士



第101施設器材隊  
福田1士



第101施設器材隊  
酒向1士



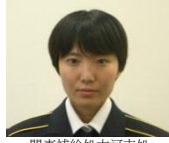
第101施設器材隊  
小久保2士



第1施設団本部付隊  
札川2士



第1施設団本部付隊  
森1士



関東補給処古河支処  
中野2士



関東補給処古河支処  
関1士



第301ダンプ車両中隊  
齋藤2士



第301ダンプ車両中隊  
川名2士



第301ダンプ車両中隊  
廣澤1士



第301ダンプ車両中隊  
高柳1士



第301ダンプ車両中隊  
金城1士



第101施設器材隊  
笠川2士



第337高射中隊  
小谷2士



第337高射中隊  
渡辺1士



第102施設直接支援大隊  
首藤2士



第102施設直接支援大隊  
吉田1士



第102施設直接支援大隊  
徳武1士



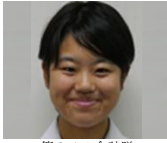
第102施設直接支援大隊  
中島2士



関東補給処古河支処  
塩澤2士



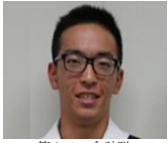
関東補給処古河支処  
大森2士



第341会計隊  
岸2士



第341会計隊  
田鍋1士



第341会計隊  
廣瀬1士



第341会計隊  
新宮1士



第341会計隊  
倉上1士



第337高射中隊  
村上2士

## 祝！配属

# 定年退官予定者の紹介



業務隊 松浦1曹  
12月27日付



支処 藤澤2尉  
12月4日付 (再任用予定)



支処 鈴木1曹  
11月10日付



# 関東補給処古河支処

補給品の出庫



整備員による技術援助



八月十一日から二十五日までの間、令和元年度富士総合火力演習における補給整備支援を実施した。

富士地区への補給整備員の派遣及び古河駐屯地における補給態勢を確立し、部隊からの要求に基づき迅速な補給整備支援を実施し、演習部隊の任務達成に寄与した。

この際、事前集積した部品等も使用し、四十二品目三百十四点の部品を補給した。



2 G p 走者



1 G p 走者

七月二十二日、令和元年度支処持続走競技会を実施した。当日は小雨混じりではあったが、気温もあまり高くなく競技会に最適な天候であり、各課・工場の勝利のために今までの練成成果を遺憾なく発揮して、個人走として三キロメートルを走り抜いた。

各課・工場対抗の部は、輸送課が見事優勝の栄光に輝き、第二位整備工場、第三位保管分類課という結果となった。

今後とも練成を継続して各人のレベルアップを図り、十月の関東処の持続走競技会での優勝を目指していく。

# 古河駐屯地業務隊



復旧前



復旧後

倒木による外灯電柱の倒れ



復旧前



復旧後

管理官倉庫 底下部めくれ



復旧前



復旧後

梱包発送所 壁鉄板、鉄骨柱破損

【台風十五号による駐屯地施設被害に対する復旧】

隊は九月、台風十五号の駐屯地施設の被害復旧作業を実施した。被害は、駐屯地内の倉庫窓ガラス割れ、女性隊舎居室雨漏り、梱包発送所の壁鉄板・鉄骨柱破損、倒木による外灯電柱の倒れ、樹木の倒木三本、各施設等の屋根の破損五か所、合計十四箇所破損等が発生した。速やかに高所作業車をリースし、復旧作業を実施して、被害発生後五日後には復旧作業を完了した。



戦力回復部隊に対するオリエンテーション



災害派遣出動部隊に対するミネラルウォーターを交付

【災害派遣支援】

隊は九月、台風十五号による災害派遣支援を実施した。駐屯地派遣部隊支援、戦力回復部隊の受け入れを行った。駐屯地派遣部隊支援は、糧食六百七食、燃料二千六百五十一リットル、ミネラルウォーター二二リットル×六百九十本、革手袋六百十三組、防塵眼鏡・マスク各五千個、簡易テント・トイレ各四十個の交付及び百一名の臨時健康診断等を支援した。

戦力回復部隊の受け入れは、東北後方支援隊の二十五名に対し、駐屯地進入の誘導からオリエンテーションにより駐屯地の概要等を説明し、給食七十五食、給油六百二リットル、戦闘服の洗濯四着作業服修繕一着を実施。時間外の入浴、売店、厚生施設の開放を行った。

# 第101施設器材隊



空自との協同による警備



車両を誘導する隊員



浮橋による全通



常総市町・関係首長との記念撮影

隊は、七月十二日から二十日までの間、古河・宇都宮駐屯地及び習志野演習場において架橋中隊訓練検閲を実施した。

本訓練は、パネル橋MGBの架設、重要防護施設の警備及び小火器射撃訓練を実施して、中隊の練度を評価するとともに、その進歩向上を促した。

また、本訓練検閲をもって隊は団の訓練検閲を受閲した。

隊は、七月七日鬼怒川河川敷において実施された「鬼怒・小貝川水防訓練」に参加し、平成二十七年関東・東北豪雨による堤防決壊地近傍に、92式浮橋八十五架を全通させ常総市関係者・消防・一般市民三百二十四名が全通した浮橋を通行した。

本訓練では生地における架設訓練を通して多くの教訓を得ることができたほか、カレールの野外炊事により地域の防災意識の高揚及び部外広報にも寄与することができた。

また、器材隊OB会、隊員家族等を招待し、隊員の活躍を見て頂いた。



# 第301ダンプ車両中隊



車両を誘導する隊員

令和元年八月四日から六日までの間、中隊長以下四十一名が東富士演習場において第三回中隊統制訓練を実施した。中隊長の命令下達後、東富士演習場に前進しそれぞれの任務に邁進した。全隊員持ち前の高い士気と団結で任務を遂行し部隊の練度向上に励んだ。



クロスウェブを設置する隊員

令和元年九月二日から十月三十一日までの間、小隊陸曹以下十二名が古河駐屯地構内排水設備整備支援を実施した。一号営庭にクロスウェブを埋設し営庭の排水機能の向上に寄与した。この間、施設基礎作業、測量能力、ダンプ操作能力及び施設機械

# 第102施設直接支援大隊



隊容検査

八月二十三日から三十日までの間、各所在駐屯地及び東富士演習場において、令和元年度方面隊訓練検閲を大隊長以下百五十三名、車両五十八両をもって受閲し、平素業務から武力攻撃事態間における方面隊の作戦部隊の行動について評価・判定を受けた。



術科練成

九月二十三日から二十七日までの間、陸曹候補生一次試験合格者を対象に集合訓練を実施し、二次試験合格に万全を期すとともに、各隷下中隊の先任上級曹長及び助教に対し教育を実施して、指導能力の向上を図った。

# 320基地通信中隊 古河派遣隊



脱面動作を行う隊員

八月二十六日、古河派遣隊は新しく着任した隊長の指揮の下、五日間の令和元年度第二回群・大隊訓練に参加した。主要項目は救急法検定及び指揮所構成になっており、霞ヶ浦派遣隊所属の若林二曹も組長として参加した。想定訓練では化学攻撃や負傷者発生時の想定が多岐にわたる。救護行動や防護体制移行への演練に大きな礎となった。



広田 1 士 (趣味: サバゲー)



柳 1 士 (趣味: ポケモン)

九月二日より霞ヶ浦駐屯地の三二〇中隊本部で三ヶ月間の研修を受けた新配置隊員が古河派遣隊へ着隊した。既に実務的な教育は完了しており、新しく行う業務にも進んで参加する積極的な姿勢も見られた。

# 第337高射中隊



4区・8区を走る岩崎 2 曹

令和元年八月五日、中隊は第四十四回秩父宮記念富士登山駅伝競走大会に参加した。本大会参加のため群持続走集合訓練に中隊から2名が参加し、内1名が選手として櫓を繋いだ。選手達は過酷な環境の中控え選手からのサポートを受け各区間を全力で走り抜くことができた。



希望に満ち溢れる新隊員

令和元年九月十一日、中隊に新たな戦力となった。緊張した面持ちではあったが、決意表明において確固たる意志を感じさせており、今後の成長・活躍が大きいと期待される。これからは初心を忘れず、任務達成のため、日々邁進してもらいたい。

# いきいき茨城ゆめ国体「綱引」



健闘する隊員



開会式

駐屯地綱引き部は八月三十一日、古河市はなもも体育館で行われた「第七十四回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体2019」の公開競技「綱引競技」成年男女混合の部に、開催代表(茨城県A)チームとして出場した。チームは駐屯地所在部隊員で編成され、国内四ブロックを勝ち抜いた代表八個チームと茨城県代表を合わせた十個チームでの競技に臨んだ。各五個チーム総当りによる予選リーグとトーナメント戦に参加したが、健闘及ばず敗退し、参加者たちは次回へのリベンジを誓った。

# 第341会計隊



任務に邁進する隊員

令和元年八月二十三日から三十日までの間、方面訓練検閲を受閲した。東部方面会計隊として初めての方面訓練検閲を受閲ということもあり、全隊員が気合十分に臨み、任務を完遂した。



新隊員、左から新宮 1 士、倉上 1 士、廣瀬 1 士、岸 2 士、田鍋 1 士

令和元年八月一日付で、渡邊一曹が第四〇七会計隊(武山)から、米谷二曹が習志野駐屯地業務隊(習志野)から転入し、新たな戦力を迎えました。また、同年九月二日付で新隊員五名が着隊し、会計隊員として古河駐屯地に早く慣れ、会計隊及び駐屯地の戦力となれるよう努力していきます。